平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語1 (English 1)	授業コード	A027524
担当教員名	メリー キャサリン ヨネザワ、清水 孝子、吉川 知子、エバンズ グリニス マーガレット、ストライフラー・ポール・ジョン	科目ナンバリングコード	A10305
配当学年	1	開講期	前期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	履修生は全てプレースメントテスト(レベルチェックテスト)を受験しそのスコアに従って決められた講義に出席する。□		
受講心得	講義スタイルではなくタスクを実際に行うことにより進んでいく授業スタイル。毎回完全参加型で評価も参加意欲に重点を置いている。5名の教員が担当するオムニバス・スタイルの授業であり、第6回以降の授業の進行は教科書の課の配列通りではない。		
教科書	『英語I』(古川知子著、NBU出版発行)		
参考文献及び指定図書			
関連科目	英語2、英語3、英語4、英語5、英語6		

授業の目的	英語をコミュニケーションのためのツールとして実際に使う事を目的としている。英語を知識としてとらえるのではなく手段として使いこなすこと、更にナチュラルスピード(ネイティブが話す速度)またはナチュラルイングリッシュ(ネイティブ間で話される英語)に近い形のリスニングをこなすことによるTOEICのリスニングパートへの準備的要素も含む。□
授業の概要	ターゲット語彙、リスニング、発音の仕組みをベースにペアやグループでタスクを行う。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : スタートアップ	
第 2 週 : プレースメントテスト 能力別(習熟度別)クラス編成で授業を行うためのクラス分けテストを行います。	プレースメントテスト問題
第 3 週 : クラス分け・オリエンテーション 前の週に行ったクラス分けテストの結果に基づいて全履修者を5つのクラスに分けます。その後、5名の教員ごとに分かれて次週以降の授業についてのオリエンテーションを行います。	配布資料
第 4 週 : Unit 1 この週と翌週とは本来の担当教員が授業を行います。教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第 5 週 : Unit 2 Sharing News 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第 6 週 : Unit 3 Package from Home この週から最後の第15週までは5名の教員が順に2回ずつ授業を行います。教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第 7 週 : Unit 4 Monday Mornings	

教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第 8 週 : Unit 5 Last Weekend 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第 9 週 : Unit 6 Favorite Music 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第10週 : Unit 7 Sports 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第11週 : Unit 8 Travel and Experience 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第12週 : Unit 9 Favorite Activities 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第13週 : Unit 10 Holiday Plans 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第14週 : Unit 11 I'm Worried 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第15週 : Unit 12 How's it going? 教科書本文のリスニングを基本とした表現を身につけます。Unitごとにターゲットの異なる発音法などを学びます。	演習問題・解答例
第16週 : 期末試験 第4週から第15週までの学修内容に関する試験を行います。	**期末テスト問題**

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考	5名の担当者がローテーションしながら授業を担当するが、学生は、教室の変更はなし。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自発的に発話したり積極的に意思の疎通をはかろうとする関心・意欲・態度を持つ。
【知識・理解】	英語に対する(文法的な知識という)認識をコミュニケーションツールへと変える。
【技能・表現・コミュニケーション】	英語でコミュニケーションをはかる。
【思考・判断・創造】	外国語で自己表現することによって、異文化マインドを身につける。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等(テスト)**	**レポート・作品等(提出物)**	**発表・その他(無形成果)**	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**20点**		**20点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**10点**		**10点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**10点**		**10点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**10点**		**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	